

鹿児島県立 楠隼中学校・高等学校 No.1

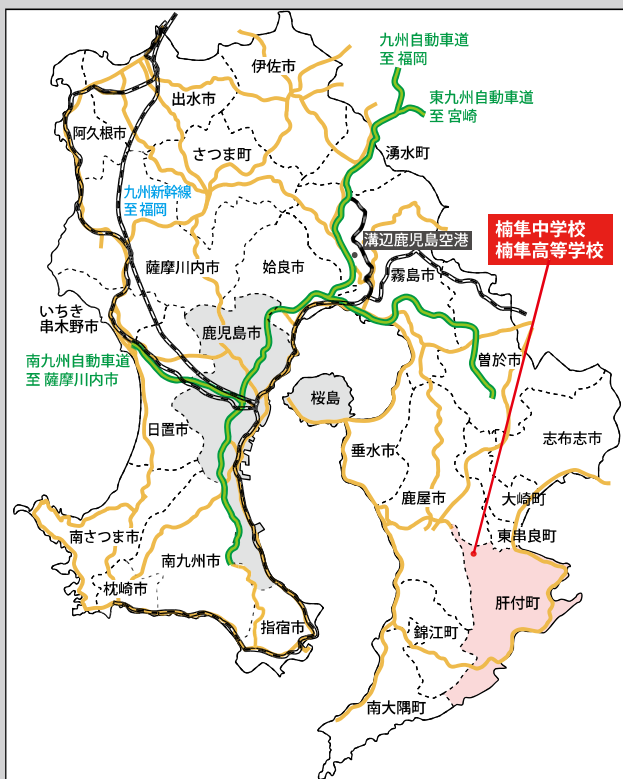
平成27年4月、公立では全国初となる全寮制男子中高一貫教育校となる鹿児島県立楠隼中学校・高等学校が開校します。

現在、大隅地域の高山高校敷地で、寄宿舎の新設や校舎改修などの整備を進めています。



寄宿舎正面のイメージ

<寄宿舎の概要>
敷地面積：約19,000㎡
建築面積：7,466.91㎡(底部分含まず)
延床面積：13,235.48㎡
構造：木造(一部鉄筋コンクリート造あり)
1期工事：平成26年2月～平成26年11月(予定)
2期工事：平成27年度(予定)
3期工事：平成28年度(予定)



楠隼中学校・高等学校の整備方針

- ① JAXAとの連携や、かごしまの魅力を学ぶ体験活動、産業界や内外の大学との連携による、魅力あふれる教育をサポートできる施設を目指します。
- ② 規律正しい生活の中で、落ち着いて勉強に取り組み、仲間とともに礼儀や自立する心を育むための施設を整備します。
- ③ 中学校・高等学校とも県内外から生徒を募集するための施設整備を図ります。



寄宿舎整備の主なポイント

① 設計の基本方針

- ① 自然環境や地域景観との調和
 - ・計画敷地周辺は豊かな自然に囲まれており、自然の穏やかな素材や色彩を積極的に活用します。
 - ・わかりやすい配置、見通せる空間にするなど、空間の可視化を図り、安全面に配慮します。
- ② 生活を温かく見守る部屋配置
 - ・寄宿舎は生徒の心や身体の健康に十分配慮し、寄宿舎内に保健室、保護者との面談ができる多目的室、各棟に職員が常駐するための寮監室なども整備します。
- ③ 快適な生活環境と地域産業の活性化
 - ・学生生活において快適な住環境を提供するために、木材を積極的に採用します。また、地域産業の活性化を図り、鹿児島県の地域材を活用した木造の寄宿舎を整備します。
- ④ 安心・安全な施設整備
 - ・地震の影響を軽減し、火災等の非常時に迅速に避難できるように、管理棟・食堂棟は平屋建、寄宿舎・メイン廊下は2階建の低層建築とし、スプリンクラー設備も整備します。



全体のイメージパース

※施設の配置等については、実施設計段階で変更する場合があります。